

砂防・地すべり技術センター研究開発助成

成果報告会※を開催しました。

※令和5年度分

当センターでは、「砂防・地すべり技術センター研究開発助成事業」として、平成4(1992)年度より、砂防や地すべり、がけ崩れ対策に関する技術開発及び調査研究を対象に、新たな施策の展開を目指すテーマで、優れた人材を結集し十分な遂行能力を有する研究者に助成してきました。

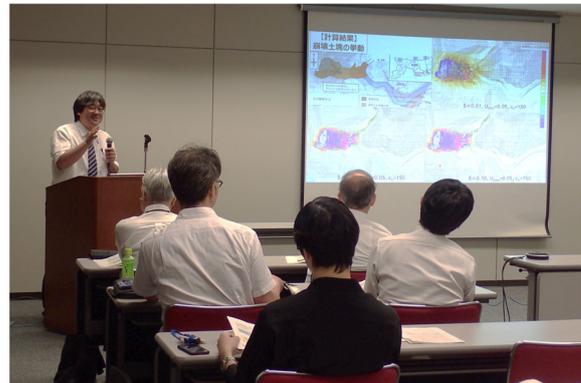
令和5年度には8件※の研究を対象に研究開発助成を実施しており、今回、その成果報告会を7月5日(金)、10日(水)に開催しました。

※研究開発助成 成果報告会〔令和5年度〕研究一覧参照

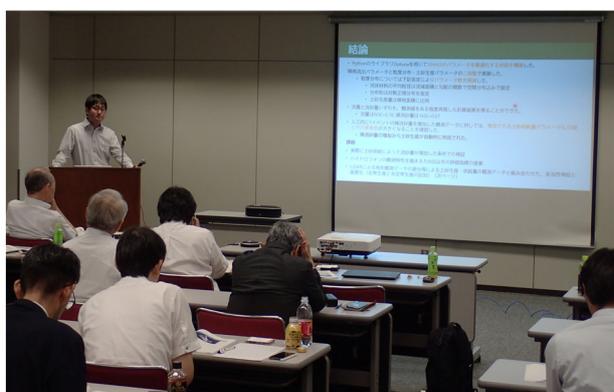
当センターでは、この研究開発助成などを通じて、砂防や地すべり、がけ崩れ対策に関する技術の向上を図るとともに、これらの事業の効率的な実施につなげてまいります。



研究発表会場の様子



成果報告の様子



成果報告の様子



質疑応答の様子

研究開発助成 成果報告会〔令和5年度〕 研究一覧

開催 日程	研究課題	代表者	代表者所属
7月5日(金) 報告会 オンライン方式			
1	電極板を用いた土砂移動観測法の現地適用による検証	堤 大三	信州大学農学部
2	デジタルツインを活用した土砂災害のソフト対策に関する研究	ハザリカ・ヘマンタ	九州大学大学院
7月10日(水) 報告会 対面及びオンライン方式			
3	山地流域の土砂流出量予測の高精度化に向けた土壌侵食モデル適用手法の開発	堀田 紀文	東京大学大学院
4	斜面崩壊後の経過年数や植生回復が土層厚に与える影響評価	篠原 慶規	宮崎大学農学部
5	多様な側方流入条件を考慮した崩壊土砂による河道閉塞形成と河川流水変化に関する予測モデルの開発	和田 孝志	鳥取大学工学部
6	土砂動態シミュレーションにおける土砂生産パラメータの定量化と不確実性評価	山野井 一輝	京都大学防災研究所
7	大規模土石流の要因となる急勾配溪流における地形変化の解明と予測法開発	高山 翔揮	静岡大学農学部
8	付加体堆積岩山地流域における大規模出水の流出解析手法の開発	山川 陽祐	筑波大学生命環境系

(参考)

[令和6年度 砂防・地すべり技術センター研究開発助成の対象課題決定](#)
[最近10年の研究開発助成実績](#)